

報道関係各位

株式会社セキュアブレイン

セキュアブレイン、インフラやアプリケーションに潜むセキュリティホールを洗い出し、 対策方法の提示までを支援する「セキュリティ診断サービス」の販売を開始

株式会社セキュアブレイン(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO:新保 勲、以下「セキュアブレイン」)は、インフラやアプリケーションに潜むセキュリティホールを専門家による診断で洗い出し、対策方法の提示までを支援する「セキュリティ診断サービス」の販売を開始します。

一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンターが、2017年1月1日から2017年3月31日までの間に受け付けた国内外で発生するコンピュータセキュリティのインシデント報告の統計(https://www.jpCERT.or.jp/pr/2017/IR_Report20170413.pdf)によると、インシデントのカテゴリで最も件数が多かったのは、2391件のスキャンでした。この件数はインシデント全体の49.2%を占めます。スキャンとはシステムの脆弱性の探索を指します。このように攻撃者は、企業のシステムやWebサイトを攻撃するために、常に脆弱性があるかどうかを探っています。Webを攻撃されWeb改ざんや情報漏えいなどの被害にあった場合、ビジネスに大きな影響が及びます。事業継続の観点からも、一定レベルのセキュリティを確保し続ける事が重要になり、そのためには定期的にセキュリティ診断を実施し、企業のインフラやアプリケーションに潜むリスクや脅威を可視化することが有効です。セキュアブレインは「セキュリティ診断サービス」として、「ITインフラ診断」と「Webアプリ診断」の2種を提供します。

【ITインフラ診断】

サーバやネットワーク機器のOSやミドルウェアに対して設定不備やパッチ適用不備などによる脆弱性を検査し、対策方法を提示します。「リモート診断」と「オンサイト診断」のどちらか、もしくは両方を選択して頂きます。

主な診断項目

- ・ポートスキャン調査
- ・バナー調査
- ・脆弱性スキャナによる脆弱性調査
- ・アカウント調査
- ・専門家による手動調査

【Webアプリ診断】

Webアプリケーションに対してSQLインジェクションやクロスサイト・スクリプティング(XSS)などの脆弱性を検査し、対策方法を提示します。テキストボックスやラジオボタン、Hiddenパラメータ等の入力パラメータ値を検査用の不正値(シグネチャ)に書き換えてリクエストを送付する擬似攻撃を行い、そのレスポンスの内容から脆弱性の有無を判断します。

主な診断項目

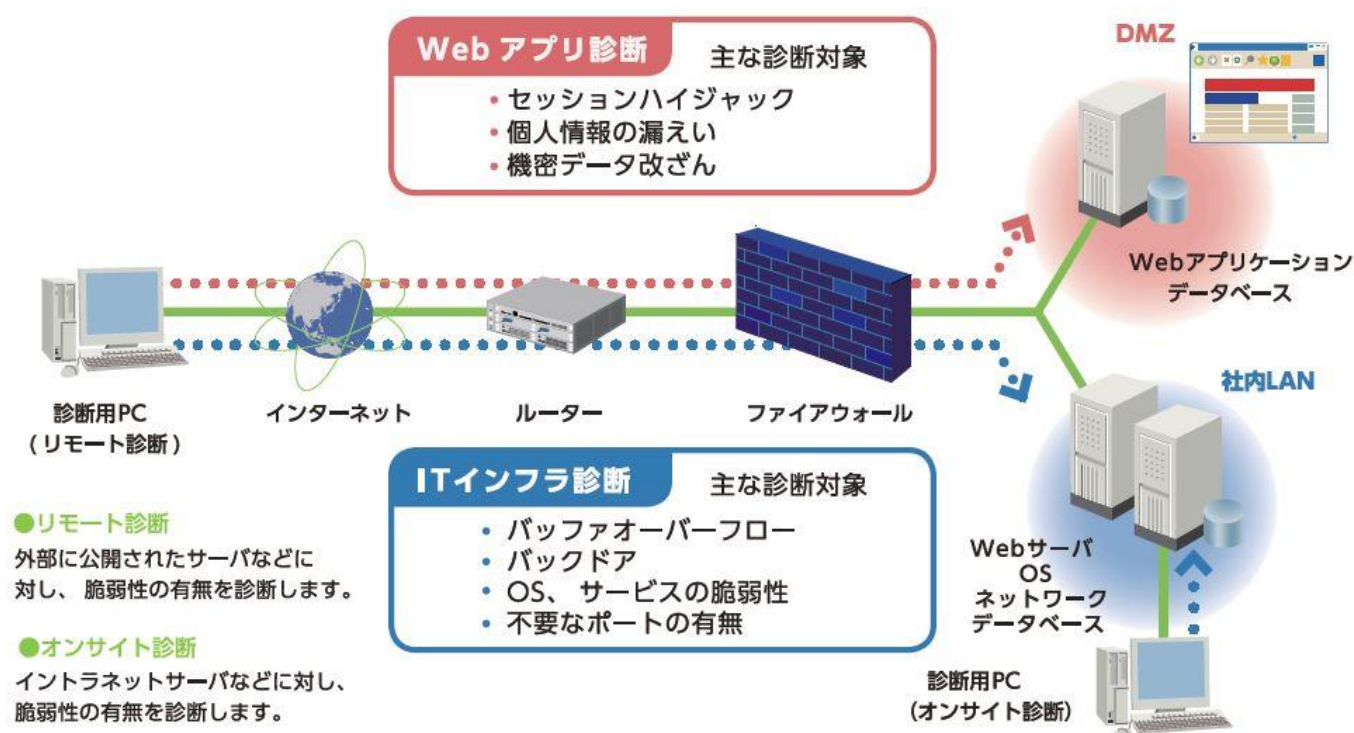
- ・SQLインジェクション
- ・クロスサイト・スクリプティング
- ・クロスサイトリクエストフォージェリ
- ・OSコマンドインジェクション

- ・セッション管理の不備
 - ・GRED Web 改ざんチェック Cloud(※)による Web 改ざんの有無の検査
- (※)セキュアブレインが提供する SaaS 型 Web 改ざん検知サービス

【価格】

検査項目によって異なります。お問い合わせください。

【セキュリティ診断サービスのイメージ】



以上

セキュアブレインについて:

株式会社セキュアブレインは、インターネット上の脅威が多様化する中、Web サービスを提供する事業者や企業に IT セキュリティを届ける、サイバーセキュリティ専門会社です。「より快適で安心できるネットワーク社会を実現するために、一歩進んだ技術で貢献する」というビジョンのもと、信頼性の高いセキュリティ情報と高品質なセキュリティ製品・サービスを提供する、日本発のセキュリティの専門企業です。詳細は、<http://www.securebrain.co.jp> をご覧ください。

◆ 本件に関する報道関係者さまからのお問い合わせ先 ◆

株式会社セキュアブレイン 広報担当:丸山 芳生(まるやま よしお)
 e-mail: info@securebrain.co.jp 電話:03-3234-3001 FAX:03-3234-3002
 〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-12 紀尾井町ビル 7F

※ 記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。